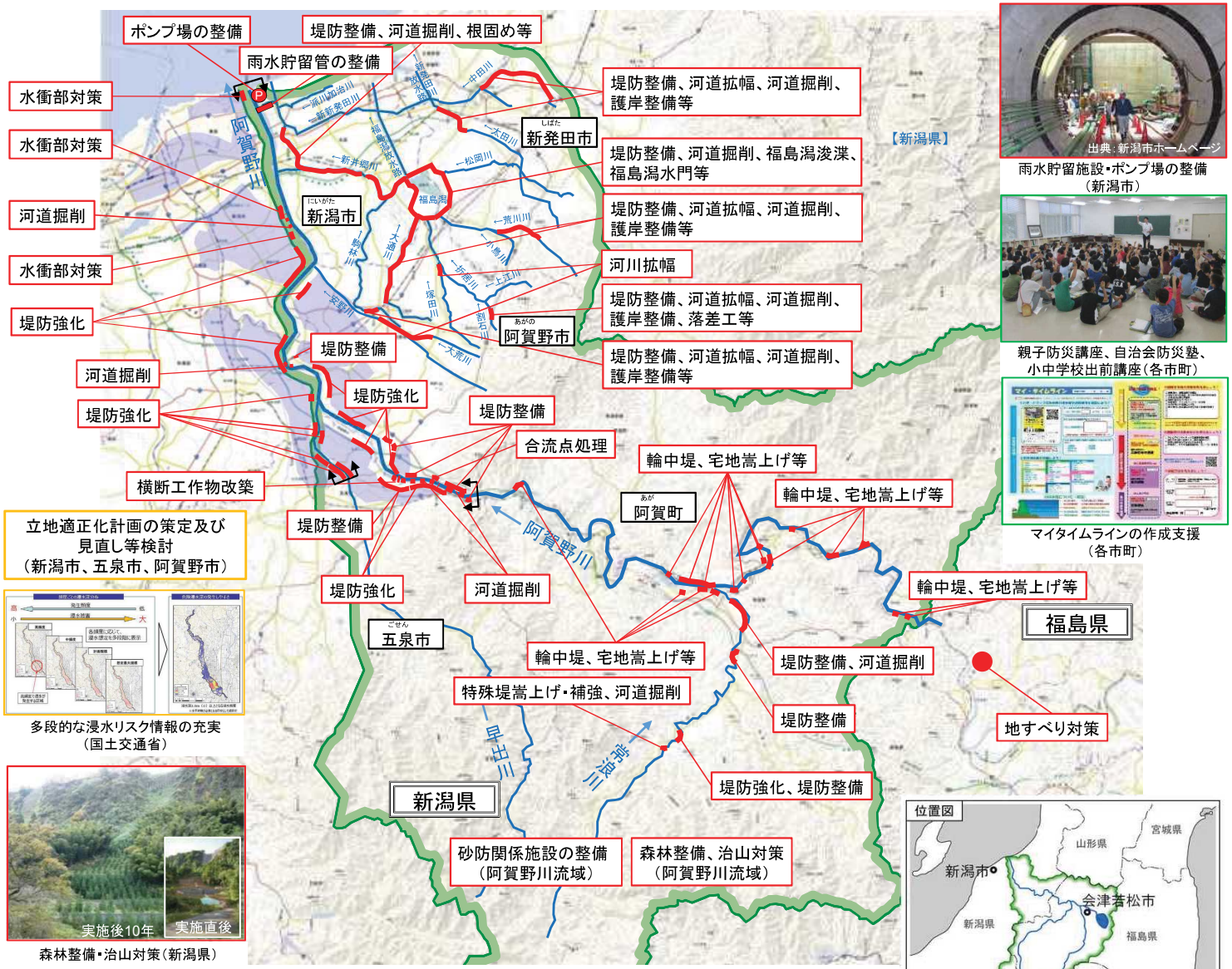
阿賀野川水系（阿賀野川）流域治水プロジェクト【位置図】

～「蛇行著しい大河」低平地広がる越後平野での治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、阿賀野川水系（阿賀野川）においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大の平成23年7月新潟・福島豪雨と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



雨水貯留施設・ポンプ場の整備（新潟市）

親子防災講座、自治会防災塾、小中学校出前講座（各市町）

マイタイムラインの作成支援（各市町）

多段的な浸水リスク情報の充実（国土交通省）

森林整備・治山対策（新潟県）

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河道掘削、浚渫、河道拡幅、堤防整備、堤防強化、水衝部対策、横断工作物新築・改築、護岸整備、宅地嵩上げ　等
- 砂防関係施設の整備
- 森林整備、治山対策、林道整備
- 計画目標1/10雨水貯留施設、雨水管、雨水ポンプ場整備
- 開発行為に伴う貯留施設整備
- 学校ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ貯留浸透施設の適切な管理
- 雨水浸透ます、貯留タンク設置への助成金交付事業
- 田んぼダム取組支援、既整備地区での農地関係者連携し適切な管理
- 既存ダム等32ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、福島県、新潟県、東北電力(株)、電源開発(株)、土地改良区など）　※参考資料参照

■被害対象を減少させるための対策

- 立地適正化計画の策定及び見直し等検討
- 多段階な浸水リスク情報の充実

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラによる情報提供
- 浸水想定区域、ハザードマップの作成・公表
- 行政区へのハザードマップ説明。マイ・タイムラインの普及啓発・作成支援
- 親子防災講座、自治会防災塾、小中学校出前講座、まるごとまちごとﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟなどによる住民・教育機関への防災啓発
- 土砂災害警戒区域等の周知、土砂災害警戒情報の精度向上
- 小中学校における水害・防災教育の実施
- 要配慮者施設への避難確保計画作成支援
- 国・県・市が連携した水防訓練の取組、危険箇所合同巡視
- 内水被害想定箇所での排水ポンプ車設営訓練
- 内水常襲地への排水ポンプ整備、設営訓練
- 防災FM、防災メールの整備、SNSによる情報発信強化
- 自治体独自の水災害情報共有システム構築・活用
- 水害リスクの高い区間の監視体制強化
- 水害リスク空白域の解消
- 通信事業者への映像情報提供

凡　例

浸水範囲（戦後最大規模に対する氾濫解析）

大臣管理区間

※本図の浸水範囲は大臣管理区間における氾濫によって生じる浸水範囲を示しており、大臣管理区間外の氾濫による浸水範囲は含まれていません。

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。